

救急・小児・災害医療を強化し、市民の安全・安心を支える「新北九州市立八幡病院基本設計」がまとまりました。

■ 計画概要

- ・計画地 : 北九州市八幡東区尾倉二丁目6番 (尾倉小学校跡地ほか)
- ・敷地面積 : 約 24,000 m²
- ・階数・構造 : 地上7階 (屋上にヘリポート) 鉄骨造 (免震構造)
- ・延床面積 : 約 28,600 m² (管理棟含む)
- ・病床数 : 350床 (開院時は 300床を目途に運用予定)
- ・診療科 : 18科 (現病院の診療科の体制を維持)
- ・駐車場 : 200台
- ・事業費 : 約 154億円



■ 事業スケジュール

- ・設計施工一括発注方式の事業者選定を行い、平成27年11月頃に契約予定
- ・平成28年夏頃の実設計完了後、工事に着手し、平成30年度内に開院予定

【新病院の特徴】

1 救急・小児医療の充実・強化

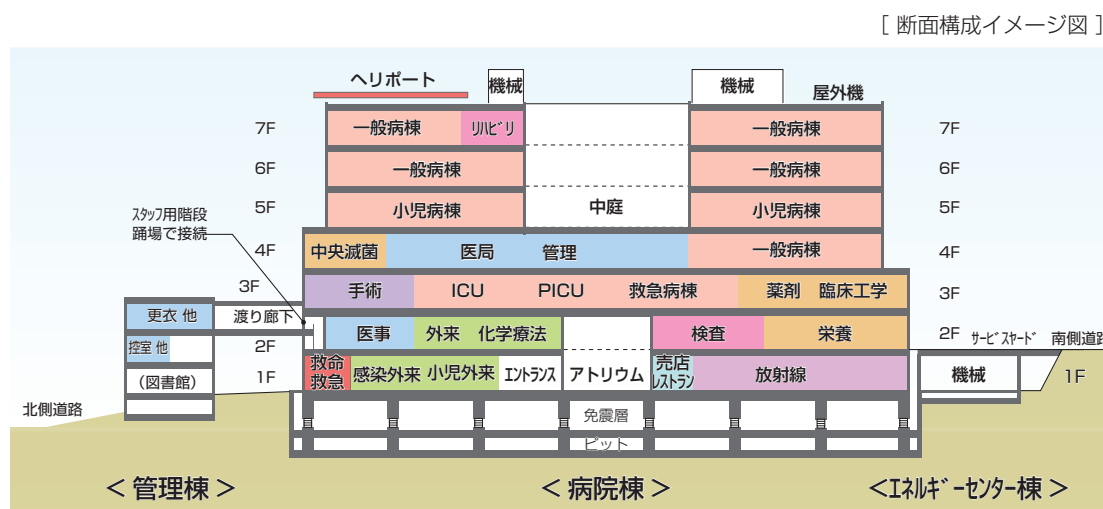
- ・24時間365日稼動する救急部門と小児部門を1階に集約することで、迅速な対応を可能とします。
- ・重篤な患者を受け入れるICUと小児専門の集中治療室PICUを手術室と同一フロア(3階)に配置し、緊急及び高度な医療を提供します。
- ・5階の小児病棟に小児患者や家族がくつろげる中庭を整備します。

2 災害医療の充実・強化

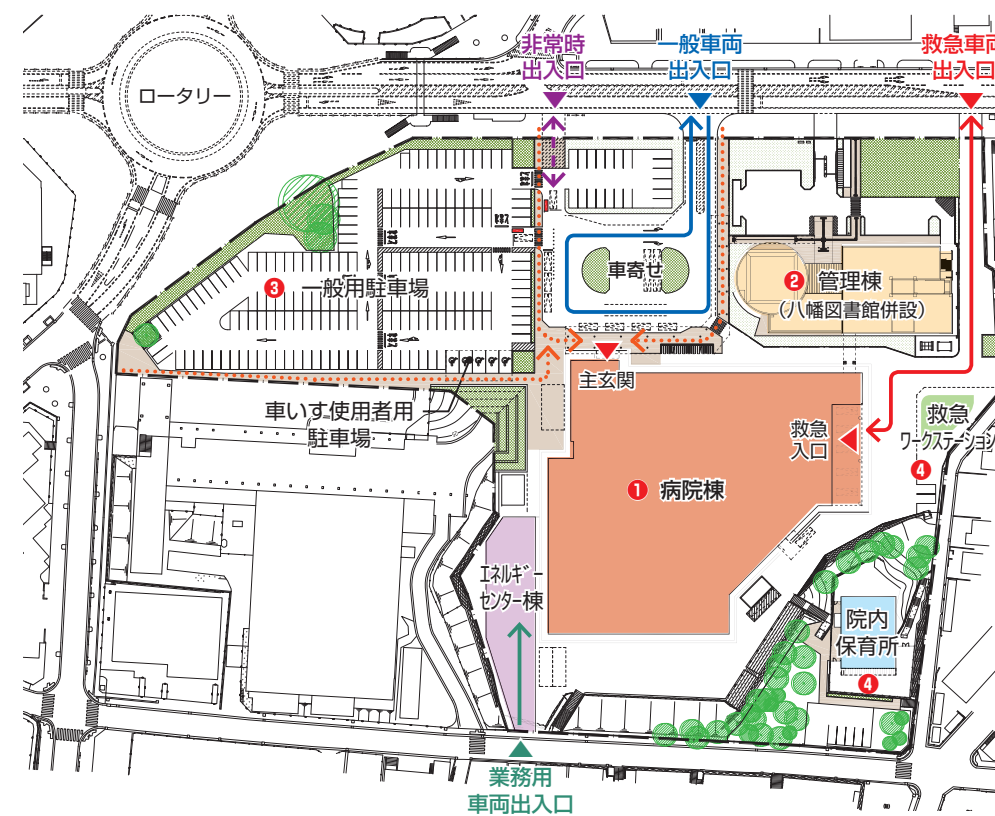
- ・大地震時でも医療機能が継続できるように、建物を免震構造とします。
- ・災害時や緊急時に患者受け入れや搬送を行うため、屋上にヘリポートを整備します。
- ・大規模災害時には、平面駐車場を資機材の搬入スペースや関係車両の駐車スペースとして最大限に活用します。
- ・多くの傷病者の重症度と緊急度を判断するトリアージスペースが確保できるように、主玄関前のアプローチを整備します。

3 その他

- ・感染患者専用の入口や診察室等を整備し、感染症対策に取り組みます。
- ・成人外来部門は2階に集約配置し、吹き抜けなどの開放的な空間と分かりやすいサインなどにより、利用しやすい施設整備を行います。



【配置計画】



1 病院棟

- ・1~2階に主に外来患者が利用する診療機能(外来/救急/放射線/検査など)を、3~7階に入院患者が利用する病棟機能を配置します。
- ・北側道路から広い車寄せ空間を經由して主玄関にアプローチします。

2 管理棟 (八幡図書館併設)

- ・既存建物を改修し、病院の管理部門(2階の一部と3階)と八幡図書館として整備します。

3 一般用駐車場

- ・200台(内5台は屋根付の車いす使用者用)の平面駐車場を整備します。

4 救急ワークステーション/院内保育所

- ・敷地東側に本病院の救急救命との連携強化を目指した救急ワークステーションを、敷地南東側の高台に病院スタッフのための院内保育所を整備します。

